

平成29年9月14日  
株式会社シーエス・ワンテン  
バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社

### 番組審議会議事録

- ・日時 平成29年9月14日(木) 11時00分～
- ・場所 東京都港区区虎ノ門 4丁目  
バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社 A会議室
- ・出席者 審議委員総数 8名  
出席審議委員数 7名

#### (出席委員名)

- 委員 松居 秀之(株式会社ピクス 常務取締役)
- 委員 清水 直樹(株式会社クリエイティブマンプロダクション 代表取締役)
- 委員 竹村 謙二郎(株式会社oricon ME 雑誌事業本部 コンフィデンス編集部 副編集長)
- 委員 野村 達矢(一般社団法人 日本音楽制作者連盟 理事)
- 委員 芳賀 康浩(青山学院大学 経営学部 マーケティング科 教授)
- 委員 松尾 健司(株式会社J-WAVE 営業局営業促進部 営業局次長 兼 営業促進部長)
- 委員 丸山 信人(株式会社インプレスホールディングス 執行役員 CPO)

※欠席委員 片岡 朋行(ヴァスコ・ダ・ガマ法律会計事務所 弁護士)

#### (衛星基幹放送事業者：株式会社シーエス・ワンテン)

- 福田 泉(代表取締役社長)
- 谷 俊之(編成局長)

#### (番組供給事業者：バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社)

- 井股 進(代表取締役社長)
- 本間 雅彦(クリエイティブ&コンテンツ部 部長)
- 木下 英夫(コンテンツ・ディストリビューション・マネジメント部 部長)
- 岡田 純明(クリエイティブ&コンテンツ部 編成 シニアマネージャー)
- 萬 隆紀(コンテンツ・ディストリビューション・マネジメント部 シニアマネージャー)

・審議番組 「水樹奈々のMTV Unpluggedを科学する」

・放送概要 2017年7月7日（金）19時～20時30分

・番組内容

ステージを縦横無尽に駆け回り、派手な演出に決して負けることのない歌と小柄な女性とは思えないパフォーマンスで観る者を圧倒する水樹奈々。そんな彼女が「声」だけを武器にシンガーとして、独特の緊張感と一体感に包まれたライブ空間を実現するMTVに歴史ある番組企画「MTV Unplugged」に挑んだ。究極にシンプルな環境下でも変わらぬ輝きを放つ彼女の歌声は、どのようなメカニズムで生み出され、聴く者にどんな影響を及ぼすのかを“科学の力”で多方面から徹底解明してゆく特別番組。

・委員からの意見・質問とMTVの回答

\*通常のアーティストのドキュメンタリーは自身の人生を語る内容が多いが、今回取り上げられているアーティストについてあまり知識が無かったため、そのような構成だと能動的に視聴することはなかったかもしれない。しかし今回、科学的なアプローチによって興味を持って視聴することができた。今までそのアーティストのことを知らなかった方にとっても、違う観点からこのコンテンツに触れるきっかけになるようなこの企画は、面白く画期的だと感じた。

→ 別番組でも採用できる企画だと思うので今後も積極的に取り組んでいきたい。

\*科学的な検証やアプローチを通して、彼女の才能や人間性に触れることもでき、興味を持つことができた。

\*曲のアレンジなどについてではなく、あえて歌声にフォーカスして掘り下げるという着眼点が良いと思った。

\*まさに“Unplugged”というコンセプトに直結したアプローチだと感じた。

\*この番組を視聴したことで、その知識を踏まえてライブ本編をより興味深く楽しむことができた。

\*90分という番組尺は、視聴する前は長いのではないかと思ったが、これまで知らなかったアーティストを理解するには十分な時間だった。

\*音を表現するのに視覚を使うことは重要で、彼女の歌唱力がリアルな波形で具体的に証明されたところなどはなかなかないアプローチであり、非常に面白く感じた。

\*第一印象として番組タイトルが面白いと感じたが、実際に番組を視聴した結果、アーティスト自身について検証している印象のほうが強かった。「MTV Unpluggedを科学する」よりは「水樹奈々の肉体を科学する」のような表現にするほうが適切だと思った。若干タイトルと内容に差を感じ、少し不親切である印象を受けた。

→ 今後の検討課題として検討していきたい。

\*内容と番組尺との兼ね合いで言うと60分ぐらいが適正なのではと感じた。

→ 番組尺に関しては悩んだ部分もあったので、今後の検討課題として検討してい

たい。

\*アーティストの歌の上手さや持ち味などを理解する中で、本人への興味が生まれていった。アーティストの事をよく知らない人に向けても、効果的なアプローチであると思う。

\*特に放送倫理に反した内容は無かった。

\*学生たちの間では音楽を聴くこと自体が少し敬遠されているような印象があるが、今回の番組のように興味の持たせ方を工夫することで、若年層を引き込めるチャンスを感じた。また、今後は映画や演劇など、音楽以外のジャンルとうまくリンクさせることで、音楽への興味を引き出すきっかけを作っていくことができれば理想的である。

→ まさに今のMTVにはそういった施策が必要だと感じているので検討していきたい。

\*元々は声優の印象が強かったが、番組を見てアーティストとしての魅力を非常に感じた。更にSNSなどをもっと活用すればファンを増やしていくことができると思う。

\*コンテンツ力が重要だということを立証した企画だと感じた。また、単純にライブ番組を放送するだけでなく、このような番組や、出演者の好みの洋楽を選曲する番組などの関連編成や、視聴者特性を理解したプロモーション施策など、多角的な取り組みをしていることで、総合的に強いコンテンツを生み出すことに成功している。

\*この番組が「MTVがなぜ彼女をUnpluggedの出演者に選んだか？」という疑問に対する答えのようになっており、アーティストの実力や、Unpluggedのブランド力についても裏付けがなされたように感じた。

\*このようなアプローチができるのであれば、今後も意外性のあるアーティストを起用したとしてもMTVファン、及び音楽ファンも納得するようなコンテンツとして成立すると思う。

→ 今後も「MTV Unplugged」というブランドを大事にしつつ、積極的に取り組んでいきたい。

・審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日

今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた平成29年9月14日以降、編成担当及び番組製作者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、更なる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。

・審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日

平成29年9月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定。

以上